

2017年8月4日

住商リアルティ・マネジメント株式会社

米国不動産を投資対象とした私募ファンドの組成・運用開始について

住商リアルティ・マネジメント株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：矢野秀樹）は、米国不動産を投資対象とした国内機関投資家向け私募ファンド「USプライムオフィス（USPO）ファンドI」（投資対象資産規模：約350億円）（以下、「本私募ファンド」）を2017年6月に組成し、運用を開始しました。

本私募ファンドは、米国不動産投資に関心の強い国内機関投資家に対し、物件確定型の商品として提供するものです。投資対象資産として、住友商事のグループ会社である米州住友商事会社（以下、「米州住友商事」）が資産保有ビークルを通じて保有するイリノイ州シカゴ市の「203 North LaSalle(ノースラサール)」並びにフロリダ州マイアミ市の「マイアミタワー」を組み入れています。米州住友商事は、米国での不動産運営ノウハウを活用し対象物件の運営管理をサービスプロバイダーとして提供します。

昨今の日本国内での低金利政策下における資金運用難、並びに投資のグローバル化を背景に、世界最大の不動産マーケットである米国における不動産に対する日本機関投資家の投資ニーズは拡大しています。住友商事グループはかかる状況を踏まえ、本私募ファンドをスタートに、USPO ファンドシリーズとして私募ファンドを継続的に立ち上げる計画です。

住友商事グループの米国におけるオフィスビル運営事業の歴史は長く、1982年にニューヨーク市マンハッタンのオフィスビル取得をスタートに、ニューヨーク、ロサンゼルス、サンフランシスコ、ワシントンDC、フェニックスなどの都市で約35年間にわたりオフィスビルを保有・賃貸運営および売買を行ってきました。現在は、本私募ファンドに組み入れた物件を含め、サンディエゴ、シカゴ、マイアミ、アトランタにあるオフィスビルでポートフォリオを構築しています。

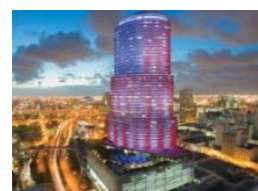
住友商事グループは、USPO ファンドシリーズを通じて、米国不動産市場で培った知見・ノウハウを活用し、良質なオフィス環境を提供することで、テナントの創造的・生産的活動に寄与するとともに、投資家に対し、最適なソリューションと優良な投資機会を提供し、不動産投資市場の成長に貢献していきます。

【参考資料】

◆203 North LaSalle



◆マイアミタワー



【本件に関する問合せ先】

住商リアルティ・マネジメント株式会社 事業企画部 TEL:03-5547-0589